



広報

まわだい

2003
1

No. 518
平成15年1月15日

伊沢和紙工房「けやき」



「The Seasons In Matsudai」

——（松代の四季）

先月完成した伊沢和紙工房「けやき」の正面シャッターに描かれた作品。左側は春と夏、右側は秋と冬の松代をそれぞれイメージし、色や表情で対比しています。また、この工房で行われる和紙製作や和太鼓にしても芸術とかかわることから芸術のミューズ（ギリシャ神話の女神）4人で建物を印象づけています。作者は、赤津ストヤーフ佳也さん（小屋丸）。

古来からこの地に伝わる和紙と太鼓で、地域の新たな活力を生み出す場として期待されます。

（この工房については、春の広報で紹介します。）

主な内容

- 町長年頭あいさつ／第16回越後まつだい冬の陣…②～③
- 平成15年スタート 町行政の現在とこれから…④～⑦
- 市町村合併（財政面から考える）…⑧～⑨
- 里創プラン通信／かまぼこ型倉庫再発見ほか…⑩～⑪
- 東京発／松代の自然／八王子から…⑫～⑬
- 消防／松代病院だよりほか…⑭～⑮
- 文芸・お知らせ・町の行事予定…⑯～⑰

■松代町役場

〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252番地 1

TEL 02559-7-2220

FAX 02559-7-2526・7-2300

URL <http://www.echigo-matsudai.com/>

告

第16回越後まつだいの陣

『のつとね! 松代城』

出場戦士大募集



出場戦士大募集

- 出場資格：出身国を問わず元服年齢（高校生）以上の身体頑強な男女
- 参加料：3,000円
- 参加申込：〒942-1592
新潟県東頸城郡松代町大字松代3252 1
松代町役場 越後松代幕府本陣
TEL 02559 (7) 2220/FAX 02559 (7) 2526
- 申込方法：参加申込書に必要事項をご記入の上、右記へ申し込みいただくか、右ホームページのランネット大会エントリーページからお申し込み下さい。
その他、24時間全国のコンビニエンスストアからランナーズ大会エントリーサービス、C-RUNTESからもお申し込みいただけます。

主催/越後松代幕府（越後まつだいの陣実行委員会）

参加申込者

郵便番号	〒	—	性別	男・女
連絡先住所			〒	()
フリガナ				年齢
氏名				歳
仮装部門参加の場合のみ記入				
仮装名称：			仮装者数	名

宛先：〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252-1
松代町役場内 越後松代幕府本陣
TEL 02559 (7) 2220/FAX 02559 (7) 2526

HP <http://www.echigo-matsudai.com/>

申込書を受付しだい、参加振込用紙をお送り致します。

新年の抱負二題

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え町民皆様方には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

総務課の事務分掌について紹介します。

◎行政係（儀式褒章及び表彰・選挙事務・行政相談・女性問題・情報公開・個人情報保護・行政改革・市町村合併に関する事等）

◎庶務係（普通財産管理・職員人事・公務災害補償・職員研修及び健康管理・奨学金・事務改善に関する事等）

◎財政係（町財政の計画調整・歳入歳出予算の編成・決算統計・行政財産管理・請負工事等入札及び契約の公表に関する事等）

◎防災交通係（防災計画及び防災会議・災害救助・防災情報無線・防犯・交通安全対策及び安全施設・町営バスに関する事等）

◎広報係（広報及び県政モニター等）

以上が総務課での主な事務取扱です。この中で今後の取組を考えている事項を記してみたいと思います。

第一点は、平成14年8月2日に公布された法律で「健康増進法」について説明します。この法律は急速な高齢化の進展及び疾病構造の変化に伴い、国民の健康増進の重要性が著しく増大していることにかんがみ、国民の健康の増進の基本的な事項を定め国民保健の向上を図ることを目的とした法律です。第25条には「受動喫煙の防止」の規定があり、内容は学校・体育館・病院・集

平成15年スタート

住みよい町づくりを目指し、町民みなさんの窓口となつている町行政。

その各担当部署において、現在もしくはこれから抱え得る課題と解決に向けた今後の抱負を語っていただきます。

アートな町とアグリカルチャーな交流

今年の7月20日から9月7日までの50日間、

第2回大地の芸術祭が開催されます。

商店街は歩行者天国となり、国際色豊かな人々が行き交う。アート巡りの中で、所々に置かれた縁台でお茶を飲みながら話も弾む。片言のイングリッシュも飛び出す。こんな光景を想像しただけでも楽しくなりそうです。

芸術祭は見て楽しむだけでなく、何かに関わりを持って活動することも、楽しさを増す秘訣ではないかと思ひますので、ぜひお友達やグループでご検討をお願いいたします。

農業を中心とした田舎体験旅行が学校や一般社会の間で注目され、いわゆるグリーンツーリズム的な傾向になりつつあります。

当町でも、平成14年は東京都内の中学校の生徒700人が農家民泊、農業体験で来町しました。

都市に住む人々の中では、自分で食べる米や野菜を自らの手で作りたいとか、生産者の顔が見える作物が欲しいという人が増えています。

松代町のアート作品、棚田農業、あふれる人情味を生かし、地元にとって実のある都市交流をめざしたいと考えております。

町民各位のご意見とご協力をお願い申し上げます。

ます。

松代ステージは、アート作品の多さとグレートの高さからも開催地の中で最も人賑わう会場になると考えられます。

まつだい駅南側には、世界的に有名なオランダの建築家ヤコブ・ファン・ライス氏の設計した雪国農耕文化村センターが威風

を放ち、その芸術性豊かな外観を見ただけでも、「あの建物は何だろう。中はどうなっているのだろうか」という素朴な疑問と興味を湧いてくる場所です。内部は更におもしろい企画が満載されていますので、オープンをお楽しみに。

芸術祭の最大イベントは、7月19日に文化村センターの柿落としも兼ねて開催される前夜祭であります。その中で「真実のリア王」という劇が演じられますが、オランダ政府の支援もあり、芸術祭の目玉のひとつですので、ぜひご覧ください。

7月19日と20日は、松代観音祭りでもあり、芸術祭のオープニングと重なります。19日は前夜祭で真実のリア王を見て、花火大会を楽しみ、夜店を廻る。

20日は芸術祭の開催日で棚田に点在するアート作品の周辺や通路は人で列をなす。

アート作品の周辺や通路は人で列をなす。

松代町の社会福祉の充実を目指して

平成14年4月より十日町地域衛生施設組合によるごみ収集・処理が始まり8ヶ月が経過しましたが、資源物の収集品目や収集回数がこれまでより増えたにもかかわらず、燃やすごみ・埋立てごみは平成13年同期に比べ減少せず、かえって増加している状況です。ごみの増加は町の組合への負担金の増加につながります。

また、組合では、平成15年度・16年度に管理型最終処分場を建設する予定ですが、少しでも長く使えるようにするには埋立てごみを少なくする必要があります。

以上のことから、今後、生ごみの減量化やビン、缶などのリサイクルの徹底を図る考えでいます。

国民健康保険における財政状況は、人口の高齢化などによる医療費の増加と経済の低迷を受けて厳しい状況となっています。こうした状況を踏まえ、国保税については所得段階に応じた軽減が図られています。また、室野診療所には川西町の富田先生からおいでいただき診療を再開したところですが、今後設備等の整備を図り地域住民の健康確保に努めたいと思っています。

介護保険においては、平成12年度から介護保険法が施行され、3年が経過します。この間、要介護認定者数・施設サービス・在宅サービスがともに着実に増加しており、今後より一層の要介護者が必要とするサービス基盤の整備とサービスの質の確保を図っ

生活基盤の整備に向けて

明けましておめでとうございます。町民の皆様には、お元気で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、当建設課業務の遂行にあたりましては、町民の皆様方のご理解とご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。

当建設課業務も多岐に渡っておりまして、町道の改良と維持管理及び災害復旧・町道の除雪・町営住宅の建設と管理・簡易水道事業・公共下水道事業・農業集落排水事業そして安塚地区振興事務所の土木関係と皆様との窓口業務があります。

国県道を大動脈とすれば、町道は毛細血管であり生活基盤の最たるものでありますので、市町村合併が予定されている折柄用地問題及び財源等条件の整った所から、町道改良工事を実施していければと思っております。

昨年春は、幸いにして町道関係に大きな融雪災害がありませんでしたが、思いがけない11月5日からの降雪のその後の融雪により町内数か所ですべり災害が発生しました。

なかでも、寺田地内では町道松代大島線が3か所の被害を被りましたが、町営バス路線であることから応急復旧により、徐行運転で運行していただいています。被災地内が林野庁の地すべり防止指定地域というところで、今後、安塚地区振興事務所のご支援とご指導をいただきながら復旧整備を

していきます。新年において大きな災害の起きないことを願ってやみません。

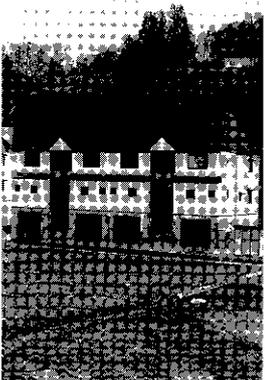
簡易水道では、旧峠地区簡易水道の改良を中心とした第6次拡張事業の計画要望を国の方に申請しております。採択され次第、整備していく予定であります。

公共下水道事業・農業集落排水事業につきましては、14年度までで大体84%と90%の進捗をみまして、随時、供用開始区域を公示しながら多数の皆様から加入ご利用をいただいております。事業計画範囲の方々も一日も早いご利用をお願い致します。

もうひとつの重点課題として、新潟県土木部より観光支援事業として整備いただく、松代駅周辺地域整備事業の窓口として地権者との本格的な用地交渉があります。

ほくほく線松代駅を中心にして駅南の里創プラン整備事業による農村文化センターとタイアップして松代町の玄関口、顔として町の発展及び活性化に資する施設となります。

関係者の皆様の絶大なるご理解とご協力をお願い申し上げます。



松代町の農業の展望

農業は、町産業の中で基幹的な位置にあり、農業の活性化を図らなければ発展もあり得ないと考えています。そのために、各種事業を取入れて農業の振興を進めています。

町単独で出来ない大規模な事業は、国や県に事業を直接お願いしているものもたくさんあります。代表的なものとして農免農道整備事業、県営中山間地域総合整備事業、県営治山事業、団体営棚田地域等保全事業、県単土地改良事業等が挙げられます。公共事業削減が言われておりますが、快適生活条件整備、優良農地保全のため、国や県に補助事業採択等を要望して、より良い農業振興のための地域条件整備に努めたいと思っています。

直接支払制度は、担い手の育成等農業生産の維持と農地保全を図ることを目的としています。現在、各集落においては、この交付金を使って様々な取組がなされており、松代町の農業に大きく寄与しています。国・県の補助のもと1億4千万円からの予算を組み、本制度の推進並びに継続に努めているところです。

今後の米政策の指針となる「米政策改革大綱」を昨年12月に農水省が決定、発表されました。この改革は、2010年度という目標年次を明確にして、米作りの本来あるべき姿の実現を目指すもので、消費者重視・市場重視の考え方に立って、需要に応じた米作りの推進を通じて、水田農業経営

の安定と発展を図ることとしています。

これにより、30年以上続いてきた国による生産調整の配分が廃止され、2008年度に農業者・農業者団体が主役となるシステムを国と連携して構築することとなっています。さらに、将来的には、減反参加も自由になるとも言われております。

減反は本年度も町に生産調整目標面積が配分(214.66ha)されましたが、現在、生産調整実施面積224.63haのご協力をいただいております。昨年通りのご協力をいただければ目標達成できると考えておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

聞き慣れない言葉ですが、「構造改革特区法」が制定され、当地域も特区に国から認定され、条件が整えば地域の株式会社等も農業経営に参入できるようになります。これについては東頸城全体で協議を重ねて結論を出すことになっており、後日、広報等で内容をお知らせ致します。

恵まれた自然を大切にしながら食糧生産基地としての確立を目指すと共に、グリーン・ツーリズム等による都市住民との交流を更に推進し、また、地域の特性を活かした創意工夫による複合経営の確立に努め地域農業を推進するための生産組織の育成、農業担い手の確保を進めると共に農地流動化を促進し、農業が魅力とやりがいのあるものとなるような地域作りを皆さんと共に目指したいと思っております。

農業委員会の今昔

農業委員会の歴史は、昭和13年に制定された農地調整法の設置によって農地委員会として発足され、戦後アメリカ、マンカーサー元帥の占領政策として民主化政策の主要な一役を担って農地改革の実施・推進の主体となり、戦後我が国の農業発展の土台を築いたのは言うまでもなく農地改革で、その主役に踊り出たのが歴史的・必然的にも農地委員会そのものであります。

当時の農地委員会は執行機関であり、農地等の買収・売渡・訴願等を自ら決定する権限を持ち、昭和22年から農地の買収が始まり地主と小作人の根強い対立の中その苦勞は並大抵のことではなかったかと思われます。

昭和25年までに農地等の買収・売渡は194万町歩に達し、小作地面積は昭和20年の約241万町歩から55万町歩程度に激減され、まさに世紀の大改革でありました。

昭和26年には農地委員会、農業調整委員会、農業改良委員会の三委員会を統合して現在の農業委員会が発足され、昭和27年に農地法が制定されました。

昭和30年代後半から都市部への人口流失が始まり、昭和45年からの米の生産調整により専業離村が更に加速され毎年40から50戸の農家が離村していきました。

松代町では、当時1,200町歩の水田が作付されていましたが、現在は486町歩と実に40%に激減しています。また、町の人口と農家数もほとんど同じ割合で減少してきています。

近年、農業委員会制度が「農地改革から農業改革へ」と変貌し、土地と人対策を基本に優良農地の確保と有効利用、担い手の確保・育成により認定農業者や生産組織などに農地を集積する地域農

業再生運動を基礎にその実践活動の推進を図る方向で進めています。

現在の主な業務内容は、各地区から選出された農業委員13名で組織され法令に基づく必須業務として農地法に基づく業務、農業経営基盤強化促進法に基づく業務があります。

農地法では農地の権利移動、農地転用、賃貸借の解約等には原知事・農業委員会等の許可が必要と定めています。

農業経営基盤強化促進法では認定農業者・生産組織に農地の利用集積・農作業受委託を促進し助成金を交付して規模拡大を応援しています。

農業者年金制度は、「農業者にも厚生年金並みの年金を」ということで昭和45年に法律化され、50以上の農業経営者は当然加入として多くの方々から加入して頂きました。

町内における、現在の受給権者は105名で年間約8,600万円支給されています。昭和50年から支給が始まり現在までに約20億円が支給され老後の農家経済安定に大きな貢献をしています。

平成14年1月1日より新制度としてスタートしましたが、任意加入のため旧制度加入者が新制度に加入された方はごく僅かにとどまり加入者が減少しています。

少子高齢化の今日、農業者の老後の生活設計は年金なくしては考えられませんが、老後生活安定のため農業者年金への加入をお願い致します。

○現金や貯金は使えば使うほど減少し続けるが、年金は使っても必ず後から再度振り込まれてきます。

○死んで遺族に役立つ金よりも、老いて自分に役立つ金を持ちましょう。

生涯学習を楽しもう

前号で紹介がありましたように、「古道松之山街道」整備が完了しました。

完了後、古道散策の計画をしておりますが、あいにくの早い初雪で断念しました。今年から春・秋に新緑と紅葉の風景を楽しみながらのハイキングを企画しております。

なぜ、「松之山街道」なのか、「三国街道」ではないのか、という問い合わせが多くあります。

新潟県教育委員会が調査し、平成四年三月に発行しました「新潟県歴史の道調査報告書」から抜粋します。

松之山街道は、北国街道の高田町札の辻と三国街道（塩沢宿）を結ぶ約十九里余の脇街道でした。

中世、春日山城と魚沼郡を結び、さらに清水峠、三国峠を越え関東へ出る軍用路であり、高田藩の領内統治のための重要な街道でした。

名称は、松之山郷（松代町、松之山町を広く指す）を通ることに由来しています。

「三国街道」と呼ばれたのは、関東への出陣が多くなった上杉謙信の時代以降のことと思われる。

本年度からスタートしました「学校完全週五日制」の対応として、主に土曜日に親子での「わくわくチャレンジクラブを実施しました。人気教室は、野鳥・星座・ホテル観察と料理教室が毎回四十人から五十人

の親子の参加があり大変好評でした。また、親子スポーツは、PR不足もあり参加が少なかったため、今年には町体育協会の各スポーツ協会（野球・バスケット・バトミントン・空手・剣道等）のご協力をいただき、各種スポーツ体験的内容で開催したいと考えております。

今年も、各種町民講座・教室、町の社会教育施設（図書館・総合体育館・生涯学習センター・総合センター）を利用いただき、町民の皆さんから健康で楽しい、生きがいのある人生のため、大いに生涯学習に取り組んでいただきますようお願いいたします。



生涯学習フェスティバル 押花教室

地域に根ざした教育をめざして

学校教育が週5日制になって約1年が経とうとしています。学力偏重への批判から「ゆとりの教育」への方針変更ですが、学力の低下が心配されている面もあります。

皆さんが心配されている学力低下の問題は、こと松代町に関してはデータによれば心配なさそうです。

また、総合的学習の活動の中では地域を知る、地域と交わる体験を重視した学習が行われています。

グローバルな面から考えますと、国際化、地球環境保護、生きる力の養成など教育というものは学力だけで推し量るものではありません。

当町の学校教育、社会教育にも少子化と過疎化のダブル波が襲ってきています。

一番規模の大きな小学校、松代小学校でも児童数は140名あまり、中学校では110名あまり、団体行動、団体スポーツ、部活動にも影響を与えています。

そんな中でこれからの教育を支えて行くには、学校だけでは教えきれないものを持ち合わせている地域力であると思われまます。地域が力をつけられれば子どもたちが参加できる環境が生まれてきます。地域を学ぶのではなく積極的に参加し、体験を積みこ

とで生きる力の元「知恵」が蓄積されます。「知識」というものは、習得しせつかくしまっておいても使う「知恵」がなければ宝の持ち腐れになってしまいます。

子どもたちに生きる知恵を備えてもらうために地域の活性化がのぞまれます。

さて、約2年後に予定されます市町村合併については、皆さんも周知のとおり市町村広域圏で進めておりますが、この中で学校統合の話が進むのではと危惧されている方もおありと思います。

基本的に市町村合併と学校統合は別個のものと考えています。市町村合併によって学校統合が強制されるものではありません。

参考！ 環境庁及び新潟県の「準絶滅危惧種」に指定されている春一番の蝶「ギフチョウ」が松代町に乱舞しているではありませんか。孟地小学校児童の野外活動に同行したときです。確かに、帰り際注意して路傍を見ますと幼虫の常食「コシノカンアオイ」も生えていました。松代の自然の中

には子どもたちに感動を与えるものがいっぱいあります。



▲ギフチョウ

今回は、財政面から合併について考えてみましょう。国とともに市町村の財政事情も景気低迷による税収入の伸び悩みなどにより、思うような財政運営ができない状態となっています。特に国税の一部を地方自治体に再配分する地方交付税については、国税が数兆円規模で減収となっているため、当初予算の歳入の半分近くを交付税に依存しているわが町のような市町村は、深刻な状況となっています。

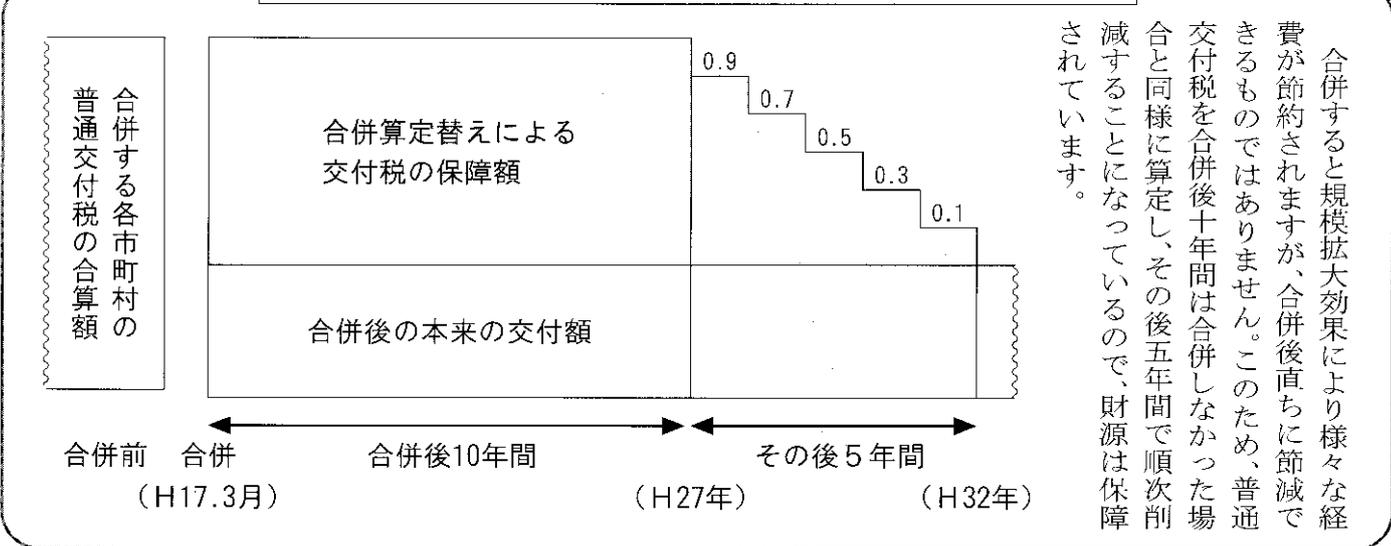
そこで今回は、合併による普通交付税の推移や、合併に伴う財政支援、経費削減見込みなどについてお知らせします。

わたしたちの町だから
知って・学んで・考えて……

市町村合併⑥

平成17年3月31日までに合併した場合は、次のような国や県による財政的支援が受けられます。

I 普通交付税算定における財源の保障（合併算定替）



II 国及び県による財政支援

合併後のまちづくりを行うために「市町村建設計画」を立案し公共的施設の整備事業を行うこととなりますが、返済金の70%を国が補填する「合併特例債」という有利な起債を10年間使うことができます。また、旧市町村単位の地域振興、住民の一体感を高めるための基金造成に対してもこの合併特例債を使用することができます。（ただし、借入金増加により将来超過負担にならないよう額を調整して活用しなければなりません。）

その他にも、現在の市町村間で異なる事務事業の統一や行政水準の格差是正をしなければなりません。この費用の一部に対しても特別交付税などが交付されます。

支 援 措 置		金 額	支援期間
国	合併特例債	336.6億円	10年
		36.1億円	10年
	合併市町村補助金	6.0億円	3年
	合併直後の臨時経費に対する普通交付税措置	9.7億円	5年
	新たな特別交付税措置	8.1億円	3年
県	合併特別交付金	23.3億円	—
	地域づくり資金貸付	19.6億円	—

各種の財政支援一覧表
(六市町村合併の場合)

2002地球環境米フォーラムin越後妻有

米米の精神と種もみを

山口県に引き渡す

稲作体験を通じて地球環境と国際協力を考える「2002地球環境米フォーラム」年間プログラムの最後の行事にあたる「種もみ引渡し式」が12月6日、東京・国際文化会館において行われました。

開式にあたり、本フォーラムの提唱者で、11月21日に御逝去された故高田宮憲仁親王殿下を惜しみ、出席者全員でご冥福をお祈りしました。

この「種もみ引渡し式」では各国の在日大使館関係者など約200名が見守るなか、米米フォーラムの精神とともに「ミオンなかと」前の田んぼで刈り取った「コシヒカリ」の稲穂が、滝沢実行委員長（十日町市長）から次回開催地の山口県北長門地域の実行委員長である松林長門市長へ手渡されました。

今回の春と秋の当地での



種もみを引き渡す滝沢十日町市長(写真右)

イベントをとおして、妻有地方の美しい自然と伝統的な文化を国内外に紹介することができたことと思われまます。また、大使館関係者とホームステイ先の家庭で育まれた心通う交流は、温かな思い出としていつまでも心に繋ぎ留められるのではないのでしょうか。

第5回の「地球環境米フォーラム」は、山口県北長門実行委員会を構成する萩市、長門市、油谷町、日置町、三隅町を会場に開催されます。

連載

かまぼこ型倉庫再発見3 (美術家・小沢剛)

かまぼこ型倉庫は、完璧な形だ。いっさいの無駄がなく、誰にも媚びてはいない。だから美しい。

ふたたび松代を訪れるの巻 (中編)

その夏の終わり頃、僕はイスのフリーボという小さな町にいた。その町の画廊で行われる展覧会のためだ。設営を手伝ってくれたのはPACという地元若いアーティストのグループで、静かで上品な町を常にひっかきまわす頼もしい存在だ。彼らは自分らのスペースを持っていて、是非来いというのである晩遊びに行った。わりと町の中心部にあり、事務所兼アトリエなのだが、部屋の中は、それはもうぐちゃぐちゃなわけだ。道に面しているところはショーウィンドーで、常に何かしら展示してある。

スペースの前に椅子を出し、みんなでビールを飲んでいるとき、遠くの駐車場の奥にふと目にとまるものがあった。そう、見覚えのあるかまぼこ型の小さな建物だった。彼らにこの建物のことを色々

聞いたが、「そういえばこんなもの前からあったつけ、もつと山の方にもあったような無かったような」と、その程度の返事しか得られなかった。薄暗がりの中の総ステンレス製のかまぼこ型倉庫の放つ鈍い光を見ているうちに遠い松代を思い出していた。

あの初夏に松代で出会った人々と話をするうちに、かまぼこ型倉庫に秘められた松代の近代史が浮かび上がってきた。トンネルと豪雪という条件がひとつになったとき、それは生まれたのだろう。さらに付け加えると、農耕の機械化や家用車の所有で、車庫や倉庫が必要になってきた背景もあるだろう。また雪下ろしという重労働を軽減する倉庫の普及は、地域の共同体的あり方の変貌にも関わってくる。次回後編はその辺に言及していく予定!

今月のかまぼこ君

なんとこれはでかい! おそらくこれは松代では最大級の物件。これはかなり山の方にあるそうで、この秋にできたばかりです。松之山地内の国道トンネル工事の支保構用の材料の転用だそう。話によると、牛を飼うために作られた初めてのものではないこと。まだ牛さんが人居しているのは残念ですが、こんな使い方もあるのですね。



田野倉地内の間口12mのかまぼこ君

あなたの近くのおもしろいかまぼこ君募集中!
(広報係まで)

全国中学生人権

作文コンテスト

新潟県大会

全国中学生人権作文コンテスト新潟県大会において、松代中学校二年佐藤杏美さんが優良賞を受賞しました。

このコンテストは、法務省と全国人権擁護委員連合会が、次代を担う中学生の皆さんに日常の家庭生活や学校生活の中で得た体験や感じたことを作文に書くことを通して、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身につけてもらうことを目的に毎年実施しているものです。

佐藤さんのテーマは「偏見こそ障害」。福祉社会において、身に障害がある方や高齢者とふれあうときに大切なことは、過度に気にしたり、声を掛けたりするのではなく、必要ときに適切に、そしてごく普通のこととして手を差し伸べる事ができること。そして、



内船新潟地方務局十日町支局長から表彰を受ける

それができるようになるには、まず自分自身の心を見つめ直し、ふれあいをとおして偏見や差別する心に気づくことが必要で、それが、差別や偏見のない支えあう社会づくりのために自分達にできることであり役割でもあると述べています。

現在、松代中学校では道徳や社会、総合的な学習の時間をおして「違いを認め、他を思いやる心の育成」、「差別をにくみ、差別や偏見をなくす心の育成」、「社会の一員としての自覚を持つて行動し郷土の発展に努める心の育成」を指針に、道徳、人権・同和教育の学習に取り組んでいます。

クリスマス

チャリティコンサート

松代中学校吹奏楽部

ツリーやリースを飾りクリスマスカラーで装われた、ふるさと会館常春ホール。父兄や友だち、一般客でほほうちめつくされた客席に向かい、松代中学校吹奏楽部のクリスマスチャリティコンサートが12月23日行われた。

部員に加え、応援に来た高校生のOBあわせて22名で、日頃の練習の成果を披露。「聖夜」や「ジングルベル」などクリスマスにちなんだ曲やポップス系の曲など17曲で観客を魅了した。

今年も、新潟県アンサンブルコンテストの木管・金管部門でそれぞれ銀賞、銅賞を受賞し、その活躍も目覚ましい。

三年生にとつてこれが最後の演奏となる。現在、部員の約半分が一年生という。今後の更なる活躍に期待が持てる。



善意をありがとう

「福祉活動に役立ててください」

松代高校生から

社会福祉協議会に寄付

昨年、松代高校の校内祭において、生徒会文科系行事委員会が行ったバザーの収益金と家庭クラブによる募金活動などでの寄付金11,668円が松代町社会福祉協議会に寄せられました。

「普段、町のみなさんに支えられて高校で生活ができるので、お役にたてただけならうれしいです」と生徒会を代表して、関谷英美さんと小堺祐香さんが、松代町社会福祉協議会会長の関谷町長に寄付金を手渡しました。

みなさんの温かいご寄付。社会福祉活動にご利用させていただきます。





会員の皆さん 松代町の皆さま 今年もよろしくお願いいたします

東京松代会会長 牧田 嘉正

会員の皆さん松代町の皆さま、新年おめでとうございませす。

昨年は、三月に越後まつだいの冬の陣、六月には初めての企画ふる里体験「ホテル観賞の夕べ」で松代町へ訪問させて頂きました。

特にホテル観賞の夕べでは、関谷町長さんはじめ高橋助役さん、松寿大学美濃和学長さん、そして総務課の皆さまには大変お世話になり有難うございました。改めて厚く御礼申し上げます。

ホテル観賞の夕べは今年も計画しています。会員の皆さんそして松代の皆さまよろしくお願い致します。

更に今年は二月上旬に松代町での「スキー教室」を新たに企画しています。

私たちは皆、雪国育ち子供の頃誰もがスキーで遊んだ経

験があります。

お子さん、お孫さんにふる里でスキーの体験をさせてあげたいと考えています。皆さまのご協力をお願い致します。

また、今年第二回大地の芸術祭が松代町はじめ十日町市とその他周辺四町村で七月二十日から五十日間開催されます。

会員の皆さん是非鑑賞にお出掛け下さい。

ご存じのように東京松代会は、ふる里から東京方面へ出てきた人達で構成されている会です。会員同志集まって語り合える新年総会や日帰りバスツアーそして同じ趣味の人が集い、楽しみながら語り合うという、観劇の会、釣りクラブ、ハイキングの会、ゴルフの会、カラオケ道場など五つの趣味の会があります。また、会員同志やふる里と

の交流を深めるため、越後まつだいの冬の陣など松代町の行事にも参加させて頂いてます。

今まで参加されたことのない方、今年是非挑戦してみてください。きつと、新たな出会いが生まれます。

東京松代会も創立して今年十二年目、会員が年々高齢化しているのが悩みの種です。会としても若い会員を増やそうと知恵を絞っています。会員の皆さんも主旨をご理解の上、お知り合いに声をお掛けくださいますよう、お願いいたします。

今年も会員の皆さんと共に賑やかに楽しい東京松代会に参加したいと考えています。会員の皆さん松代町の皆さま今年もよろしくお願い申し上げます。

東京だより

越後まつだいの冬の陣

3月8日(土)～9日(日)

越後まつだいの冬の陣、雪祭りの大イベントに参加しよう。

お申込みを忘れた方も、まだ間に合います。

(1月末日まで受け付けます)

お申込みは、下記の事業委員までご連絡ください。

地区	役員	電話番号
松代	片山徳重(事業委員長)	045-501-5984
松代	柳克治(委員)	048-478-6503
松代	高野広子(委員)	03 3845 1889
峰方	金井高一(委員)	03-3687-9241
伊沢	若井晃(委員)	03-3665 3847
山平	小塚貞子(委員)	03 3921-8455
山平	丹羽トモエ(委員)	03-3976-9561
奴奈川	山岸茂勝(委員)	047-344-4311
奴奈川	米持新吉(実行委員長)	047 383 1831

募集 ふるさとスキー体験のご案内

日時：2月8日(土)～9日(日)

体験場所：松代ファミリースキー場

宿泊場所：松代町青少年研修センター

参加費用：大人 14,000円

子供 9,000円

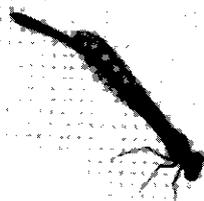
このたび、松代町のご支援により雪国の里、松代にてスキー体験を企画しました。お子様やお孫さんを連れて雪国を楽しんでみませんか。

お申込みは、先着五十名まで。下記の実行委員へご連絡ください。

地区	役員	電話番号
松代・伊沢	石野 士	048-832 7288
峰方	小野島 營	0426-77-3428
山平	菅井 正博	048-584-5735
奴奈川	山岸 茂勝	047-344-4311

●松代の自然●

オツネントンボ



トンボの仲間のなかには、晩秋になってもまだ健在を示しているものがあります。

オオアオイトトンボというイトトンボの仲間では、最大のものが緑色の金属光沢をした体で、なよなよと飛んでいるのが見られます。

このなよなよとした仕草が嫁さんの初々しい姿を連想させるので、このようなイトトンボの仲間全体を総称してアネサドロンボと呼んでいるのは松代町でも広く言われていると思われます。

春早くに田んぼに黄色い姿を見せるのがキイトトンボ、それより少し小型でお尻が少し赤みがかつたモートンイトトンボも現れます。モートンという英国人のトンボ学者を記念

してつけられた名だといわれます。それからアオイトトンボが普通に発生して池の面で遊んでいるのがよく見られます。

このアネサドロンボことイトトンボは、種類が多いので覚えられませんが、見分けが難しいので深入りできませんが、冬になっても屋内に入つて越冬する地味な淡褐色のアネサドロンボは特徴があるのでよく判ります。時期的にトンボのない頃に姿を見ることがから地味でも意識に止まりま

す。これはオツネントンボというもので、越年(おつねん)するトンボという意味の名です。

おそくまでいるオオアオイトトンボと時期が重なり、平成四年十一月十九日にオオアオイトトンボがオツネントンボを襲つて食べている場面を目撃したことがあります。共食いすることのあるトンボの世界のこと、種類が違えば強者には弱者は獲物にしか過ぎません。ということでは真冬でも暖かい日光の射す日があると浮かれたように迷い出て、太陽が陰り急激に冷えてきたのに、避難する術が間に合わず、雪の上で冷たくなっているものもあります。そんなものがこの写真に撮られたものなのです。(文と写真高橋八十八)

八王子市

「いちよう祭」で

まつだいの自慢品をPR



激励に当町のテントを訪れた、八王子市の黒須市長。

そば、あんぼ、味噌、しめ縄飾り……。まだまだあります、まつだいの自慢品。

11月23日・24日の二日間。八王子市で行われた「いちよう祭」。都市交流と松代町のPRを兼ね、今年で六回目の参加になります。

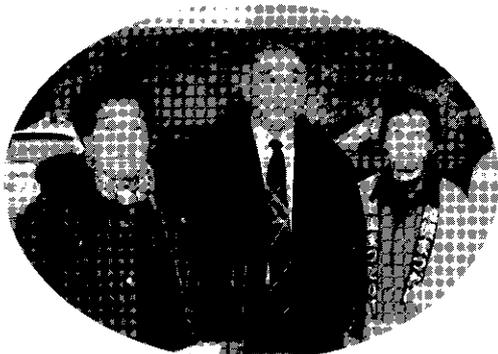
イチヨウの木は、八王子市の木にも指定されており、市内を走る甲州街道沿いに約七百六十本のイチヨウ並木が続いています。この頃、街道に舞い落ちる黄色い扇形の葉が、秋の深みを

感じさせます。

「あんぼありますか」。「今年も峠の味噌持ってきてる」。毎年回を重ねるごとに、八王子市民の皆さんからそんな親しみを持った声が聞かれます。

今年も、あいにくの雨模様でしたが、祭りには約18万人の出入があつたとか。

「がんばってるのー」。激励に訪れられた、東京松代会の牧田会長の来店に、松代の自慢品の宣伝にはずみがかかります。八王子市職員組合の皆さんの協力や東京松代会の会員の皆さん、そして出稼ぎで近くにいられている皆さんからご声援をいただきながら、今年も八王子で「まつだい」を宣伝できました。



ご来店いただいた東京松代会の牧田嘉正会長。

いっぱい貯めてね！

「私のアイデア貯金箱」

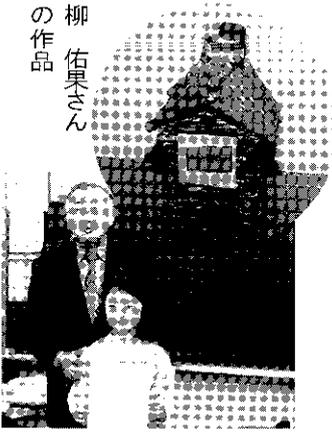
コンクール

このコンクールは、郵政事業庁が預貯金啓発活動の一環として、全国の小学校児童を対象に行っているもので、今年は、松代町から左記の5人の児童が努力賞を受賞しました。

- 努力賞 武田 彩さん(松小2年)
- ” 柳 佑果さん(孟小2年)
- ” 富澤 萌さん(松小3年)
- ” 関谷和樹さん(松小5年)
- ” 鈴木 拓さん(松小6年)



武田 彩さんの作品



柳 佑果さんの作品

明るい選挙推進運動

50周年で感謝状

昨年で、昭和二十七年に明るい選挙推進運動が組織的に推進されることとなってから五十年をむかえました。

総務省ではこの間、明るい選挙の推進に功績のあった人を表彰することとし、松代町選挙管理委員会委員長の関谷厚権さん(室野)に感謝状が贈られました。



感謝状が贈られた関谷厚権さん

明るい・きれいな選挙を！ 今年は統一地方選挙です

平成十五年春の統一地方選挙は、次の日程で行われる予定です。

◆新潟県議会議員一般選挙

告示 4月4日 選挙日 4月13日(日)

◆松代町議会議員一般選挙

告示 4月22日 選挙日 4月27日(日)

雪に埋もれていませんか！ 防火への心がけ



1月5日 松代町消防団出初式



自宅周辺や集落内にある消火栓、防火水槽、消防器具など、ふだん、なにげなくたたずんでいるこれらの消防施設。万一の火災に備え、いつでも使えるようにしておくことは、生命や財産を守るための各自の責務です。

もうすぐ10000日

(4月26日に達成)

現在、松代町内での民家無火災記録10000日に向けて、着々と日数を重ねています。記録はともかく、いつでも防火を意識して、痛ましい火災をなくしましょう。

短歌

境内の落ち葉を清め青苔の返す冬陽を一人まぶしむ

本山 祖道

散らばりてまたかたまりて舞いあがり木枯らしの吹きあばれる落ち葉

市川 辰雄

霜月の早き初雪に高値よび野沢菜四キロ千三百円となる

柳 こめ

風もなく音なく枯れ葉舞ひ落ちてひたひたせまる冬の足音

笠原 トミ

弾丸の空より投下さるるごと霰は降りぬ地をはじきつ

野石 念

蒲生句会

陽を浴びてやんわり動く冬の蜂

山路

また忘る買物ありて師走妻

月日

未だ海の眼をせし鱈を届け

耕山

厨下駄はいて薬味の葱をぬ

翔山

鶺鴒の実や梢に残る日のかけ

龍峰

山毛櫨山がごうごう鳴りて

鐵堂

雪催い

長老の注連縄作り左利き

耕人

戸間口に植木集めて冬籠

折人

しづみ俳句会

柿好きの佛に供えしおけさ

八千代

外は風夫婦二人ののっぺ汁

紅茶

立冬を待たずに降りし雪の

六花

嵩

置手紙して妻は留守柿贈

澹水

尺五寸鉄の大鍋燗汁会

とし子

人を待つ駅の初雪踏み固め

枯水

小春日を授かり鉄かるき音

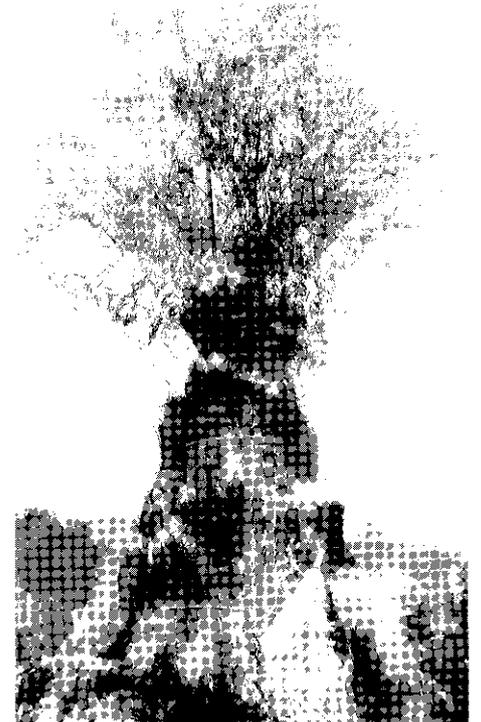
公鳴

明朝の早起き覚悟雪はげし

漣舟

町職員異動のお知らせ

萬羽 美栄
農林課 副参事 林務畜産係長
↓
総務課 副参事 (合併準備室 勤務)



一年の無病息災を願って

人口の動き

男	2,077人	(+4人)
女	2,202人	(+6人)
計	4,279人	(+10人)
世帯数	1,487世帯	(+4世帯)

出生	1人	死亡 2人
転入	15人	転出 4人
(14年12月末日現在)		

各集落の人口と世帯の状況 (平成14年12月末)

集 落	人口	世帯数
松代	1,371	458
小荒戸	90	30
太菅平	162	83
菅刈	90	29
田沢	78	25
小屋丸	10	5
池之畑	44	12
下山	39	18
千池尻	204	66
会沢	33	10
清水	45	20
桐山	32	15
蓬平	18	11
東山	167	56
海老伏	21	7
犬地	38	18
孟地	255	67
片桐山	72	21
滝沢	17	6
中子	31	10
芋島	16	4
田野倉	86	28
仙納	113	40
筋平	48	16
小貫	83	24
寺田	2	1
名平	86	24
蒲生	20	7
儀明	197	82
福島	184	60
奈良立	69	25
室野	31	12
竹所	363	132
峠	24	9
木和田原	76	31
合 計	64	25
	4,279	1,487

戸籍の窓口

(12月1日～12月31日)

幸せ多い人生を(婚姻)

高橋洋一

カタランカルロス ジョセリンさん

(会沢・そうえん)

元気な良い子に(出生)

高橋駿吾・清隆・八恵子さん

(勘平・ますや)

ご冥福を祈ります(死亡)

布施 勇さん 78歳

(松代・なかや工業)

関谷 力さん 76歳

(松代・せきや)

町の行事予定（1・2月）

お知らせ

1/21(火)	乳児検診
22(水)	
23(木)	すくすく教室
24(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
25(土)	第1回十日町広域圏合併任意協議会 中里村コーモール 9:30～
26(日)	上石杯クロスカントリースキー大会
27(月)	
28(火)	
29(水)	
30(木)	
31(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
2/1(土)	第2回大地の芸術祭企画発表会 十日町クロス10 18:00～
2(日)	小学校 松之山スキー大会
3(月)	ほくほくの里 節分
4(火)	風疹予防接種 総合センター 13:30～ 立春
5(水)	市町村合併懇談会 ふるさと会館 19:30～
6(木)	
7(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
8(土)	東京松代会 ふるさとスキー体験 松代ファミリースキー場 (～9日まで)
9(日)	
10(月)	
11(火)	建国記念の日
12(水)	
13(木)	
14(金)	小学校親善スキー大会 心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
15(土)	
16(日)	松代町将棋大会 総合センター 9:00～
17(月)	確定申告(3月17日まで)
18(火)	
19(水)	雨水
20(木)	信越学童スキー大会

第2回 大地の芸術祭企画発表会を開催

本年夏、いよいよ第2回大地の芸術祭（以下、芸術祭）が開催されます。7月20日の開幕を前に、これまでの準備活動の進行状況の報告及び、参加作家・会期中のイベント紹介を中心に、芸術祭全体の概要を発表します。当日は、平山新潟県知事を招いてのてい談も行われます。入場無料でどなたも参加できます。この機会にぜひお出かけいただき、芸術祭への支援をお願いします。

と き： 2月1日(土) 18:00～20:00

と ころ： 十日町クロス10 大ホール

主 催： 大地の芸術祭・花の道実行委員会

事務局 十日町地域広域事務組合企画振興課

TEL 0257-57-2637

平成15年住宅・土地統計調査の単位区設定について

●住宅・土地統計調査とは

平成15年10月1日に全国一斉に住宅・土地統計調査が行われます。住宅・土地統計調査は、住宅・土地に関する国の最も基本的な調査で、5年ごとに行われている調査です。

この調査の結果は、豊かでゆとりある住生活を実現するための国や地方公共団体の行政施策を企画・立案するうえで、重要な基礎資料になります。

●単位区設定の調査を行っています

平成15年に行う住宅・土地統計調査の実施を正確に、また円滑に行うため、町内において単位区設定をし、調査に先立ち調査地域の状況を確認します。

住宅・土地統計調査指導員が皆様の地域を巡回し、住宅の状況などを確認したうえで単位区を設定していますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

総務省統計局
新潟県・松代町

編集後記

◆先月、国立国語研究所が外来語の日本語への言い換え表現の検討を行っているという、その中間発表を行った。広報を編集するうえで、特に気にする部分でもある。日常的な会話の中で、既に日本語化しているかのように使われている言葉も少なくはないので、使い分けの線を引くのが難しい。それにしても、行政文書には複雑な言葉が多いように思う。

◆昨年9月から隔月で連載をお願いしている、美術家の「小沢剛」さんは、現在ニューヨークで活動している。松代にごく普通にあるかまぼこ型倉庫に美術家の観点から注目していて、いま広報で好評を得ているコーナーの一つになっている。

「田舎・雪国俳句」入賞者発表

越後田舎体験推進協議会の手催で行われた「田舎・雪国俳句」コンクール。

東頸城をイメージする「田舎・雪国」をテーマに募集を行ったところ小学生から一般者まで約680点の作品が寄せられました。

その中の、松代町からの入賞作品を紹介します。

小学生の部

最優秀賞

「雪だるまわたしの家の見張り番」

小嶋なつみさん（孟地小）

優秀賞

「ズボンズボン 野うさぎ雪にはまってる」

菅井彩香さん（孟地小）

優秀賞

「雪の中 みこしをかついで 大あばれ」

小嶋華奈子さん（孟地小）

中学生の部

優秀賞

「紅の夕日にかくれる 赤とんぼ」

佐藤拓巳さん（松代中）

優秀賞

「祖母のあし かんじぎを得て リズムもつ」

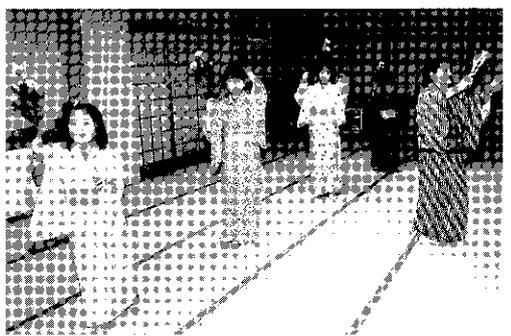
市川文恵さん（松代中）

優秀賞

「雪やんで 星が降り出す 夜空かな」

樋向 唯さん（松代中）

舞踊 歌童会



（室野）の後を継いで、舞踊の指導にあたっている。現在では歌童会のほか町内の三団体の指導も行う。

週に一度の練習。「発表会前はつい言葉もきつくなります」と熱心さがうかがえる。けど、「見てる人を楽しませるには、自分たちも楽しくないと」と、女の子たちもうかれておふざけもみせる。

この歌童会も結成して五年になる。「お客さんが一緒に歌を歌ったり、手拍子をしてくれるのがうれしい」と女の子たちは言う。

「よくがんばったね」踊り終えた女の子たちに、自然に声を掛けたくなる。おばあちゃんが目に涙するのは、喜びを贈ってあげた、あなたたちへの感謝の気持ちだよ。

おじやまします

「おばあちゃん泣いてたね」「ウン。ずつとハンカチ目にあててた」。大きな拍手を受けながら、控室に入ってきた小さな女の子が話す。「うれしんだよ。きつと」と年上の女の子が答えた。

「デイサービスセンターやまびこ」（十日町市）で行われた、歌童会の訪問公演。小学三年生と五年生の女の子、それぞれ二人ずつの四人で民謡四曲の舞踊を演じた。

年に三回程度の発表会のほか、最近はこのように施設での訪問公演も多く、年に六、七回はあるという。

指導するのは、日本民謡舞踊連盟公認師範の高野歌子さん（松代）。高野さんは、昨年米寿をむかえ町でも舞踊を先駆けて広めた山岸ヨキさん

